

第1回県立高等学校編成整備に関する懇話会委員の意見について

●編成整備計画の基本方向（案）について

	意見概要	事務局の考え方
1	<p>中学校から高校に進学する子どもたちは様々で、定時制課程に進む子どももいれば、出席状況の芳しくない子もいて、それでも高校で頑張ってもらいたいとの思いで送り出している。その子に合った進路を選択して欲しいことと、進学先で学園生活を楽しくて欲しいとの考え方もあって、学校で進路指導するのに非常に困っている状況がある。ただ、職業課程とか、地区もあると思うが、受け皿をしっかり用意してもらいたい。それでも、やはりある一定の人数は必要ではないかと考える。</p>	<p>次期編成整備計画では、多様な教育ニーズに対応するための定時制課程の改編や連携に取り組むこととしております。また、高等学校においては、生徒の多様なニーズに応じて個々の能力を伸ばすための教育課程を編成したり、学校行事や部活動の充実が図られるような教育環境を確保するためには、ある程度の学校規模が必要と考えており、適正規模を1学年4～8学級としております。</p> <p>一方で、離島・北部地域においては、小規模校であっても、学校や生徒の存在が地域の活力を引き出している面もあることから、生徒や地域の実情に即し地域と連携を図りながら、特色ある学校づくりに取り組んでまいります。</p>
2	<p>学び直しも含め、共生社会の部分からすると、今後は通級という方向（高校は2つあるが）があれば、今後、そういう形で学校の中で通級する子どもたちを増やすことによって、不登校や進路を変更しないといけない子どもたちを救うことができると思う。その辺が上手いかず、定時制高校で対応していることが考えられる。特に発達障害の生徒は私立の通信制の学校に通っている生徒も多い。居場所づくりを進めていく点からも、通級指導教室については考えてもらえたらと思う。</p>	<p>高等学校における通級による指導については、担当課において、学校の実情に応じて導入を進める予定となっており、今後、地域の実情に応じた計画的な設置と、生徒の実態に応じた教育課程の編成及び自立活動の充実に取り組んでまいります。</p>
3	<p>インクルーシブ教育のところで、新たな併設型特別支援学校を設置するとある。どちらかというとな部にあって、中部には1校だが、地域は考えているのか。</p>	<p>併設型特別支援学校については、実施計画において、現在の設置状況（中部地区1校、那覇南部地区3校）を鑑み、北部地区及び中部地区への設置に取り組むこととしております。</p>

●その他

1	<p>沖縄県は若年無業者の割合が全国に比べて相当多い。以前は全国平均の3倍くらい多いという話があったが、若年無業者の大半は実は大卒と言われている。これはやはり、基本的に小さい頃からのキャリア教育が浸透していない事が大きな原因だと思う。逆に言うと、中学、高校は、私の印象だと、キャリア教育、進路指導については、実質的には進学指導がとて強すぎる。目先の高校、大学に合格すればいいというところがありすぎて、逆に本来、キャリア教育の意義が十分浸透していないと感じられる。もったいないと思う。うまく回していくことができればいいと思うが、このへんを少し意識してもらいたい。</p>	<p>キャリア教育については、次期教育振興基本計画の施策の一つに掲げておりますが、次期編成整備計画においても、特に進路未決定率改善に向けたキャリア教育の充実を追記するなど、計画全体においてその必要性を明記しております。</p> <p>また、例えば自学自習が基本である通信制課程において、自分で学習することが困難な生徒や、教員による日々の学習支援が必要な生徒が増加傾向にあることなどから、入学前の段階における適切な進路選択に向けた、各課程・各校の特徴・特色に関する積極的な情報提供及び中学校との更なる連携の必要性についても追記しております。</p>
2	<p>進路指導ではなく、進学指導、良い学校、学力の高い学校に行くことが、最終的に幸せに繋がる、という意識が高いという感じはしている。実際、私も中学から高校を決める際に、担任から自分が選んだ学校と違う学校に行きなさいと指導された事がある。断って自分が行きたい学校に行ったが、子どもたちが自発的にきちんと選べるというところを逆に大人が潰していないか、ということも考える必要があると思う。</p>	
3	<p>小学校から中学校に行く場合は校区制があり、決まっているが、中学校から高校に行く時に、学力の部分もあると思うが、その高校の事を知らないモチベーションが高まらない。部活動で頑張ろうとする子どもたちは一部であるが、どうも中学校から高校があまりよく見えないので、3年になって初めて一生懸命高校の姿を見ようとする。もう少し高校が校内や地域でもこういう事をやっているな、ということがわかればいいと思う。高校を選ぶ時にはもっとモチベーションを高める子が増えたらいいと思うので、これは一方的にお願いするのではなくて、市町村や中学校の側としても連携をとらないといけないと思う。</p>	